



前号に掲載しました前期末学校評価アンケートの結果を基に、各プロジェクトで後期の取組の重点について検討しました。また、第3回学校運営協議会でご意見をいただき改善を図っています。

第3回学校運営協議会 ～各プロジェクトの後期の取組～

確かな学びづくりプロジェクト

- 「おはよう計算プロジェクト」の継続
 - 多くの人に見てもらうことで、学習内容の定着を図る。
 - 優しい声かけや会話がはずむことで、心のつながりも生まれる。
- 自主学習の充実
 - 「家庭学習の手引き」や「Today study」の活用とともに、保護者へも協力を依頼する。

豊かな心づくりプロジェクト

- あいさつ運動の深化・充実
 - 班長からあいさつをし、あいさつのリレーをする（地区児童会でも指導）。
 - あいさつ標語を募集する。
 - 運営委員会が朝のあいさつの評価をし、昼の放送で紹介する。
- 縦割り班活動の工夫
 - 掃除の反省会で、互いに名前を呼んで相互評価することを継続する。
 - 縦割り班遊びをする。交流しやすいよう、場の設定を工夫する。



健康・安全づくりプロジェクト

- ろう下歩行「右がわを歩く」の徹底
 - 「ろう下歩行強化週間」の実施後も、引き続き全校の意識を高める。
- ジャックナイフストレッチの習慣化
 - 「みいカード週間」により、親子でジャックナイフストレッチに取り組むことを促す。

6年修学旅行記

10.19～10.20

出発式で、6年生に「三冠王」ではなく「三感王」のミッションをクリアしてほしいという願いを話しました。「感動」「感激」、そして「感謝」の三感です。解散式での振り返りでは、たくさんの感動・感激・感謝があったことを確認できました。

一つ目は、バスの車中での様子です。ゲームあり、歌ありで、とにかく終始みんなで楽しもうという微笑ましい様子が見られました。そのノリのよさは抜群でした。担任のガイドも絶妙でした。

二つ目は、マナーのよさです。バイキング形式の1日目のホテルでは、わざわざフロアマナージャーが、6年生の様子を誉めてくださいました。同じ会場で食事をされていた一般客の声だそうです。ホテルでも、一定のきまりを守って、少しだけ羽目を外すかわいらしさがうかがえました。

6年生の集団としての質が高まっていること、一人ひとりのよさが光っていることを実感した2日間でした。

